

第137回秋期大会 2019年11月1日(金)～3日(日) 東京農工大学小金井キャンパス

第135回大会より大会3日制を採用し、金曜に表彰式、小山田記念賞受賞講演、市民フォーラムを開催し、土曜、日曜は講演、ポスターセッションの充実を図ります。また、講演大会の国際化の一環としてポスターセッションには英語ポスター発表枠を設け、優秀英語ポスター発表表彰を行います。講演概要集はカラーデジタル版のダウンロード配布とします。

主催 一般社団法人軽金属学会

後援 公益財団法人軽金属奨学会

協賛 日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、軽金属溶接協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本ダイカスト協会、軽金属製品協会、自動車技術会、日本顕微鏡学会、溶接学会、粉体粉末冶金協会、資源・素材学会、日本バイオマテリアル学会（依頼中）

交通 JR中央線「東小金井駅」下車、南口徒歩約8分、nonowa口（ICカードのみ）徒歩約6分

JR中央線「武蔵小金井駅」下車、徒歩約20分

表彰式 1日(金)

軽金属論文賞・論文新人賞、小山田記念賞、高橋記念賞、軽金属躍進賞、軽金属奨励賞、軽金属女性未来賞

小山田記念賞受賞講演 1日(金)

市民フォーラム 1日(金)

研究発表講演会 2日(土)、3日(日)

テーマセッション1 「ミルフィーユ構造の材料科学III」

テーマセッション2 「アルミニウムの凝固・微細化・清浄化」

テーマセッション3 「アルミニウム合金の高精度成形シミュレーションおよびその普及化技術」

ポスターセッション 2日(土)

軽金属躍進賞・軽金属奨励賞・軽金属女性未来賞受賞講演 2日(土)、3日(日)（一般講演セッション内で実施）

男女共同参画セッション 2日(土)

キャリアパスと男女共同参画課題

軽金属企業研究会 2日(土)、3日(日)

機器・カタログ展示 2日(土)、3日(日)

懇親会 2日(土) 東京農工大学 生協

第137回秋期大会 参加申込

大会参加費（消費税込、講演会参加申込の方には講演概要集のカラーデジタル版を配布します。冊子版（モノクロ）希望者は別途、購入してください）

	正会員	学生会員	非会員
予約	6,000円	3,000円	10,000円
当日	7,000円	4,000円	10,000円

（軽金属学会維持委員会社社員、協賛学協会個人会員の方は会員扱い）

- ・参加予約申込の会員は、会員マイページより大会1か月前からカラーデジタル版概要集を無期限でダウンロード可能です。維持会員、協賛学協会、非会員の参加者にはID、パスワードを発行し、HPダウンロードサイトから入手可能としますが、HPサイトからのダウンロード期間は大会終了後2週間までとなります。ただし、いずれも参加費の入金確認後でないとはダウンロードできません。
- ・大会会場での当日受付も可能ですが、会場ではPC等の貸出、Wi-Fiの提供をしていませんので、カラーデジタル版概要集のダウンロードにあたっては機器等ご自身でご用意ください。

懇親会費（消費税込）

	正会員	学生会員	非会員
予約	6,000円	2,000円	10,000円
当日	10,000円	5,000円	10,000円

（軽金属学会維持委員会社社員、協賛学協会個人会員の方は会員扱い）

大会参加予約申込方法

軽金属学会ホームページ：<https://www.jilm.or.jp/> 「第137回大会」ページで受付けています。個人会員の方は会員マイページにログインしてから参加申込してください。英語での申込も可能です。

大会参加費支払方法

申込と支払方法選択（クレジット決済も可能）が完了すると、受付No.、振込先等を明記した「第137回秋期大会参加申込受付メール」が送信されるので、クレジット決済以外の方はその内容に従って参加費の振込みをお願いします。参加費の領収書は入金確認後、会員マイページから入手いただけます。

参加予約申込締切：2019年9月30日(月)

- ・大会プログラムは、軽金属学会ホームページならびに「軽金属」9月号に掲載します。
- ・東京都内のホテルは混雑が予想されますので、早目のご予約をお勧めします。

概要集冊子版（消費税込、※冊子版はモノクロ印刷）

定価	会員価格
10,000円	7,000円

- ・概要集の冊子版もご希望の方は軽金属学会ホームページの「刊行物・資料」―「学術図書類」―「その他の出版物」から購入ください。
- ・大会会期中は会場にて、限定30部を10,000円で販売します。

第137回秋期大会講演募集

講演申込締切 2019年7月18日(木) 23:59までにweb申込
概要集原稿締切 2019年8月26日(月) 13:00 事務局必着
概要集印刷発行日 2019年10月2日

発表資格：発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は、入会手続きをお願いします。

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとめたもの

講演形式：口頭発表（一般セッション、テーマセッション）、またはポスター発表（ポスターセッション）
※第135回より講演大会の国際化の一環としてポスター発表に英語ポスター発表枠を追加

概要原稿：海外からの参加者にも発表内容が伝わるよう、英文ABSTRACT（100 words）追加、図表および図表のキャプションは英文表記。詳細は「概要原稿の書き方」を参照

発表方法：(1) 口頭発表
①講演時間は、原則として、発表15分、討論5分
②プロジェクト（RGB端子接続）のみ用意（PCは持参、HDMI接続の場合は変換アダプタを持参）
③英語での発表も可能
(2) ポスター発表
①在席時間は2時間で、ポスターは翌日12:00まで展示
②英語ポスター発表は英語発表ブースで行い、質疑応答は英語を使用

申込方法：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>から申込

- (0) 会員マイページに新規登録する
- (1) 「イベント」→「講演大会」→「募集中の大会」をクリック
- (2) 「講演申込」画面の内容に従い、講演申込を行う。
英語での申込も可能です。
- (3) 講演形式を、口頭発表／ポスター発表（日本語）／ポスター発表（英語）／口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよい／テーマセッション から選択する。口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよいを選択した場合は、続いて講演分類を選択する。テーマセッションはT1, T2, T3から選択。
- (4) 申込と支払方法選択（クレジット決済も可）が完了すると、受付No.、振込先等を明記した「第137回秋期大会講演申込受付メール」が送信されるので、クレジット決済以外の方はその内容に従って講演申込費の振込みをお願いします。講演申込費の領収書は入金確認後、会員マイページから入手いただけます。
- (5) 講演申込内容は、申込締切日までは、会員マイページの「大会講演履歴」ページで修正可能です。

※講演発表に伴い入会される方は、6月中に入会申込書とともに本年度分会費を送付する。送付の際は、現金書留にて、入会申込書とともに本年度分会費を同封のうえ、「講演申込のために会員番号の事前連絡を希望」とのメモを必ず添付する。

※第127回大会より講演分類と選択方法を変更しました。大分類（対象材料）および5つの小分類（用途、現象、検出・解析方法、目的、材料形状）からそれぞれ該当するものを選択ください。従来と異なる切り口でのプログラム編成を考えています。

※ポスターセッション充実の目的は、口頭発表によるパラレルセッションを可能な限り解消するためであり、50件程度のポスター発表を見込んでいます。右側のポスター発表実施要領をご覧ください。多くのポスター発表申込を期待しています。

講演申込費：2,000円 テーマセッション、ポスターセッションも同じ（講演申込と同時にクレジット決済、郵便振替または現金書留で送金する）。講演申込費は講演申込事務

にかかる費用です。講演発表者をはじめ、大会に参加する方は、別途、大会参加登録が必要です。詳細は前ページをご覧ください。

問合せ先：一般社団法人軽金属学会 事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階
Tel: 03-3538-0232 Fax: 03-3538-0226
E-mail: shomu@jilm.or.jp

ポスター発表実施要領

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させています。
*第135回より講演大会の国際化の一環として、英語で質疑応答を行う、英語ポスター発表枠を新設（国籍は問わない）
*11月2日の懇親会にて優秀ポスター発表賞および優秀英語ポスター発表賞受賞者を軽金属学会会長名で表彰
*表彰者を学会誌「軽金属」および「学会ホームページ」に写真入りで紹介
*学界、業界を問わず、35歳以下の正会員からのポスター発表も表彰の対象

実施方法

- (1) 対象者：正会員、学生会員の希望者。ただし、同一発表者による複数のポスター発表はできない。
- (2) 口頭発表と同様、概要原稿を提出する。英語ポスター発表者の概要原稿本文は和文、英文を問わない。
- (3) 幅900mm×高さ2100mmのパネル1枚を予定。ポスターサイズはA0版（幅841mm×高さ1189mm）が標準。パネルの前に机は置けない。
- (4) ポスター作成に当たっては、表題には必ず英文表題を並記し、図表および図表のキャプションは英文表記とする。英語ポスター発表はすべて英語表記とする。
- (5) 在席時間は2時間。ポスターは9:30から12:00までに掲示を済ませ、翌日12:00まで展示。15:00以降に残っているポスターは撤去する。

テーマセッション実施要領

下記のテーマセッションでの講演を申込むと、世話人が基調講演と一般講演をプログラム編成し、座長を選任し、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供します。

テーマセッション1

「ミルフィーユ構造の材料科学Ⅲ」

趣旨：

我が国発の合金であるLPSO型マグネシウム合金は、LPSO相に構造と組織の特異性を有する上に、押出加工によりキンクが形成され、それに伴って室温における顕著な強化を示すことから注目されてきた。最近の研究の進展により、LPSO相をより広義に捉えた“ミルフィーユ構造”、すなわち、硬質層と軟質層が非周期の層状構造を有する物質においてもキンクが形成され、強化が発現することが知られてきた。ミルフィーユ構造はマグネシウム合金にとどまらずチタン合金やアルミニウム合金においても見いだされてきており、キンクを利用した新奇の強化機構の多様な材料への適用が期待されている。本テーマセッションでは、マグネシウム合金におけるLPSO構造を含めたミルフィーユ構造におけるキンク形成およびキンク強化に関わる講演を募集し、高強度・高延性構造材料創製に資するキンク形成およびキンク強化の学理を議論したい。

世話人：

山崎倫昭(熊本大学), 阿部英司(東京大学), 河村能人(熊本大学), 相澤一也(JAEA), 藤居俊之(東京工業大学), 斎藤 拓(東京農工大学), 染川英俊(NIMS), 萩原幸司(大阪大学), 君塚 肇(大阪大学), 三浦誠司(北海道大学), 伊藤浩志(山形大学), 中島英治(九州大学), 東田賢二(佐世保工業高等専門学校)

テーマセッション2

「アルミニウムの凝固・微細化・清浄化」

趣旨：

現代のアルミニウム casting においては、ダイカスト・鋳物・圧延材を問わず多くの品種において微細化剤が用いられている。微細化剤中の粒子が凝固サイトとなることで結晶粒数が増え、結果として凝固組織が等軸晶化・微細化されると考えられるが、その詳細な過程には不明な点が数多く残されているのが現状である。「アルミニウムの凝固・微細化・清浄化研究部会」は平成27年に設置され、アルミニウムの凝固・溶湯処理プロセスにおける様々な現象を実証的に検証し、その挙動を学術的に明らかにしていくことを目的として活動を行ってきた。本セッションは、微細化剤による結晶粒微細化や、精錬用フラックス添加による溶湯清浄化、気泡吹き込みによる介在物粒子の気泡付着除去など、凝固やその前段階における溶湯処理に関して本部会における研究成果を報告するとともに、様々な議論を行う場として企画した。凝固・微細化・清浄化に関する研究発表を広く募集する。

世話人：

嶋崎真一(香川高等専門学校), 及川勝成(東北大学), 渡辺義見(名古屋工業大学)

テーマセッション3

「アルミニウム合金の高精度成形シミュレーションおよびその普及化技術」

趣旨：

自動車等輸送機は、車体の軽量化技術が求められ、さらに近年の自動車はデザイン性が重要となり、特徴的でより複雑な形状が求められている。軽量化対策として適用されるアルミニウム合金板は、鋼板と比べ成形性は劣り、成形シミュレーションにおいても、鋼板と同様の材料モデルを活用しただけでは忠実に成形挙動を予測することができず、成形不具合を完璧に予測することはできない。アルミニウム合金の成形予測の高精度化は、アルミニウム合金特有の材料モデルを見出すことが必要であり、これらを一般的に活用するために普及化することが重要となる。本テーマセッションでは、平成26年度から開始した研究部会「高精度板成形シミュレーションの普及化検討研究部会」の成果報告も含めて、アルミニウム合金の成形シミュレーションを高精度化および普及化するための新しい手法や解析に用いる材料モデルの同定手法など、成形シミュレーションおよびその関連技術に関する研究発表を広く募集する。

世話人：

桑原利彦(東京農工大学), 山中晃徳(東京農工大学), 吉田健吾(静岡大学), 宇都宮裕(大阪大学), 瀧澤英男(日本工業大学), 西田進一(群馬大学), 福増秀彰(三菱アルミニウム株), 為広信也(株神戸製鋼所)

—— 参加費、講演申込費の振込みについてお願い ——

事務局での入金確認のため、申込者ご本人以外、例えば、大学、企業等から参加費、講演申込費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No., ②振込日, ③振込金額, を Fax: 03-3538-0226 または E-mail: shomu@jilm.or.jp にご連絡ください。ご協力を宜しくお願い申し上げます。